

チャレンジ20目標の進捗状況

部門	エネルギー種	番号	目標	実績 (R1年度末)	実績 (R2年度末)	詳細		
家庭部門の再エネ自給率拡大	電気	A-1	集合住宅で太陽光発電を導入	41件	43件	平成27年度より既築集合住宅再生可能エネルギー設備設置導入支援事業(再生可能エネルギー基金活用事業)を実施し、平成27年度に1件申請あり、平成28年度以降は実績なし。		
		A-2	低エネルギー住宅を導入(制度の導入)	なし	なし	低エネルギー住宅の導入を促進するような制度を整備し、導入へ繋げる。 平成28年度に住宅ストック循環支援事業(国土交通省)が実施されている。		
	電気・熱共通	A-3	20件の太陽光・太陽熱ハイブリッドハウスを導入	-	-	太陽光・太陽熱メーカー等にヒアリングを実施した。		
		A-4	5,000人の市民がエネルギープロシューマー(生産者兼消費者)化	2,398人	2,751人	2016年6月:1,309件→2017年3月:1,784件→2018年3月:1,983件→2019年3月:2,228件→2020年3月:2,450件→2021年3月:2,751件 (経済産業省資源エネルギー庁のなっく!再生可能エネルギーの市町村別導入量(B表)の10kW未満の導入件数より抜粋)		
	熱	A-5	集合住宅で太陽熱利用機器を導入	-	-	平成27年度より既築集合住宅再生可能エネルギー設備設置導入支援事業(再生可能エネルギー基金活用事業)を実施し、平成27年度に1件申請あり、平成28年度以降は実績なし。		
家庭・業務・産業部門の再エネ活用率拡大	電気	A-6	市内で1万kWの太陽光発電を新規導入	9,341kW	10,916kW	2014年度末(ビジョン策定の前年度末):15,149kW → 2016年度末:20,535kW →2017年12月末:21,372kW→2018年3月末:21,816kW →2019年3月末:23,348kW→2019年12月末:24,490kW →2021年3月末:26,335kW		
		A-7	10件の市民出資型再エネ事業	5件	5件	すみれ発電1~4号機、6号機(5号機は丹波市に設置)		
		A-8	10件の地元金融機関との連携プロジェクト	1件	1件	すみれ発電2号機(池田泉州銀行からの融資を得た連携事業)		
	電気・熱共通	A-9	市役所本庁舎の100%再エネ化	電気	14.4%	15.7%	(264,443kWh【再エネ由来電力量】+31,516kWh【太陽光発電量の発電量】) / (1,849,254kWh【市庁舎電力使用量】+31,516kWh【太陽光発電の発電量】) =15.7%	
				熱	0%	0%	市庁舎に設置なし	
	熱	A-10	公共施設で再エネの利用を増大	22施設	22施設	<太陽光発電> 本庁舎、安倉南身体障害者支援センター、ウエル西山、亀井第三住宅、末広中央公園、仁川小学校、長尾小学校、川面保育所、めふ保育所、安倉中保育所、中央図書館、御殿山中学校、山手台中学校、小浜浄水場、宝塚第一中学校、山手台小学校、長尾幼稚園、高松町会館、西谷小学校、安倉北小学校、長尾中学校 <太陽熱利用システム> 中央公民館 <ペレットストーブ> 中央公民館 <廃棄物発電> クリーンセンター		
				A-11	5か所の避難所で再エネを利用	7か所	7か所	御殿山中、山手台中、宝塚第一中、山手台小、西谷小、安倉北小、長尾中
				A-12	公園で再エネを利用	1か所	1か所	末広中央公園に太陽光発電機器設置
				熱	A-13	市内で500㎡程度の太陽熱利用機器を導入	394.3㎡	433.7㎡
	A-14	業務用建物で太陽熱利用機器を導入	-				-	平成28年度より事業用太陽熱利用システム設備設置助成制度(再生可能エネルギー基金活用事業)を実施しているが、平成28年度は実績なし。 国の再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金の採択事例なし。

部門	エネルギー種	番号	目標	実績 (R1年度末)	実績 (R2年度末)	詳細
交通部門		A-15	公共交通部門でのモデル的再エネ導入	-	-	鉄道、バス会社等にヒアリングを実施した。
人づくり・場づくり 情報提供・環境教育		A-16	5,000人の市民が宝塚エネルギーに参加	2,669人	2,899人	講演会等のイベントのべ参加人数(1,953人)とFacebookのいいねの人数(946人)の合計(平成24年度からの累計人数)
		A-17	10団体のNPO団体が再エネ関連活動展開	2団体	2団体	NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会 一般社団法人西谷ソーラーシェアリング協会
		A-18	再エネ相談窓口の相談累計実績1,000件	26件	26件	平成27年度に実施した再エネ相談窓口(委託事業)での実績件数 現在の相談窓口は「ひようご環境創造協会」にて受付している
		A-19	すべての図書館・学校図書室に環境エネルギー文庫を設置	-	-	エネルギー関係図書の充実や既に設置している図書も含めた文庫化について、教育委員会と引き続き協議していく。
		A-20	環境エネルギー教育のプログラムを作成・試行	-	-	教育委員会やNPO団体と連携し、実施に向けた検討を行う。 宝塚すみれ発電が甲子園大学とソーラーシェアリングについて共同研究を行っている。